

「父母について」

平成二十一年六月十三日受験

西東京本部 刈田支部 門富賢介

ぼくのお父さんとお母さんは、いつもいっしょにあそんでくれてやさしいけど、おこるととってもこわいです。

ぼくは、赤ちゃんのころから道場につれて行ってもらって、練習を見ていました。

見ていると、お父さんやお母さんが本部長に型を教えてもらったり、お父さんやお母さんがほかの人に教えてあげたりしていました。それを見てぼくは、

「空手っておもしろそうだな。」

と思いました。

ぼくは4才から空手をはじめました。きゅうが上がっていくうちに、お父さんとお母さんのしどろがきびしくなってきました。そのきびしさがあったから、ぼくは「きゅうまでいけました。でもそのきびしさがなかったら、きゅうまで行けなかったと思います。」

お父さんとお母さんにとってもかんしゃして  
います。ありがとうございます。

20 × 20